



「ご縁結び」で拓く、国際基準のプレゼン教育

生物資源科学部 准教授 古水 千尋

古水研究室では、組織の枠を超えた広範な連携（SDG 17：パートナーシップで目標を達成しよう）により、体系的なプレゼンテーション研修を継続しています。理化学研究所や民間企業、北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門CoSTEPなど、学内外の多様な専門家と協力体制を築いているのが特徴です。

国際的にはキャリア形成に不可欠な素養とされるプレゼンテーションですが、国内の理系分野では、専門的な研修機会が限られているのが現状です。そこで本学が大切にする「ご縁」をキーワードに、所属を問わず誰もが「伝える力」を磨き、多様な背景を持つ人々とつながる場を創出しました。2025年10月には、この先駆的な取り組みをまとめた論文が国際学術誌に掲載されています。

本活動は、質の高い教育機会の提供（SDG 4：質の高い教育をみんなに）に加え、スキルの向上を通じて若手研究者の活躍を後押しし、自律的なキャリア形成（SDG 8：働きがいも経済成長も）を支援するものです。「ご縁結び」の精神を大切にしながら、プレゼン教育を通じて植物科学の魅力を社会へ発信し、次世代の人材育成に貢献していきます。